

聞いてきました
52
みんなの広場

下之宮ボランティア活動

お話を伺ったのは、
 代表の田中常久さんです。

その後の
草刈り作業後の達成感と親睦会が楽しみ



さあ、これから作業開始!

活動の目的と始まりは?

ボランティア活動の目的は、地域の環境美化と人的交流(親睦)です。利根川のサイクリングロードが草に覆われ、樹木が道に倒れかかっているのを見て、平成21年5月、11名で「おまかせ隊」という名前で活動を始めたのがきっかけ。12年間で累計2293人の参加がありました。

どのような活動ですか?

利根川のサイクリングロード(長さ1.8km)の草刈り、

及び竹や樹木の伐採を行っています。草刈りの参加人員は約30名。4月から10月まで年5回、その他事前の草刈りも含めると全体で18回、作業時間は3時間ほど。昨年の年間参加者の合計は265名でした。今年も同様に実施の予定です。

楽しみは何ですか?

草の刈り終わった後の達成感格別です。また年4回の親睦会では、女性の手作り料理やピザ料理に全員大喜びです(令和2年は中止)。地域を愛する多くの仲間感謝、感謝です。



斜面も下まできれいに

議会だよりへの感想は

毎回読んでいます。私たちが思っているより、いろいろな視点で質問しているのが楽しみです。

今回は月田委員が取材しました

こちら編集室

夕方の散策が日課になっている。5月から6月にかけて見渡す限りの麦畑は、やがて色づき美しい黄金色に輝いたあと、順番に刈り取られ、あつという間に水田と変わっていく。この時期ならではの、見事な色彩のコントラストに、私は毎年、感動している。

さて、玉村町でも高齢者の新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいるが、「なぜ国産ワクチンの開発が遅れているのか」と誰もが疑問に感じている。

わが国では1970年代以降、相次ぐ予防接種の集団訴訟で国が敗訴し、ワクチン政策が遅れてきたと言われるが、2009年の新型インフルエンザの流行で、日本は推計約



議会広報特別委員会

- 委員長 石内 國雄
- 副委員長 新井 賢次
- 委員 小林 一幸
- 委員 原利 幸
- 委員 月田 均
- 委員 備前島 久仁子
- 委員 三友 美恵子

2000万人が感染し2000人余りが命を落としている。

米政府は国家安全保障の観点から、新たな感染症に備えて治療薬やワクチンの研究開発を平時から支援してきたという。緊急事態が発生して、日頃の研究開発の蓄積がどんなに重要かと認識した国民は多い。安全な国産ワクチンが、一日も早く認可されるようにと願うばかりである。(備前島 久仁子)

たまむら議会山柳
火事多難 強心臓を もらひどつ

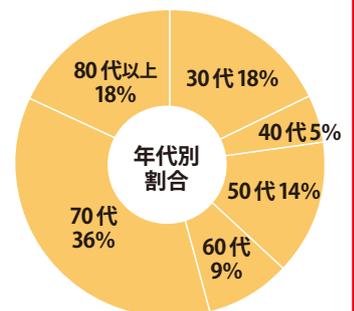
(詠み人 スバリスト)

次回定例会の予定

9月1日(水)
)
14日(火)

本会議・委員会は、
 どなたでも傍聴できます

6月議会の傍聴者は
22人でした。
 (男性:17人・女性5人)



※10代・20代はなし